（1）　週刊（除日曜）　昭和21年6月1日　第三種郵便物認可　昭和24年2月23日　運輸省特別扱承認第238号　いわき民報　夕刊　昭和27年12月5日　（金曜日）　第2010号

夕刊 いわき民報

発行所
平市田町48 電381 1222
いわき民報社
編集兼発行人 田原 登

木材の百貨店
筑木 一般建築材
秋田杉 木曽檜 津島松
ラワン ベニヤ板
園芸資材 その他
一材木店
平市五丁目電二九〇 五五六

オーロン工場誘致
愈よ有望となる
關係者が來平し現地視察

平市に大工場を誘致する動きは過般、県綜合開発調査局、経済審議庁の係官が来平し平窪、鎌岡、九品寺前の三カ所に亘る現地視察の結果、オーロン（合成繊維）工場の誘致が有望視されて以来俄然関係方面の注目をあびていたが、三日夜、再び県綜合開発調査局から須出技師並びに薬有代表の株式会社ICC代表取締役、通産省調査員　総理府資源調査会専門委員の足立英夫氏が立地条件の視察に来平、舘橋市長、関場課長、柴出商工主任ら市当局関係者と懇談、五日朝、現地視察の上、工場誘致に欠くことの出来ない石炭需給の調査のため常磐炭鉱を訪れ種々調査六日市当局頭脳部並びに市商工委員らと合同審議する事になつた

この結果によつて平市への工場誘致も大体の線は決まる模様である　柴田市商工主任談　視察員の話を綜合すると大体平窪が特に有望視され誘致する工場は低品位炭を利用し中位のものはガス化して都市ガス、尿素、合成繊維（オーロン）硫安、燐安、メタノール等を製造する、下級炭は発電した残りの灰と石灰石とを混合して舗装用セメントを製造するといつた構想である、この場合低品位炭の提供とコストの関係や選炭技術の問題もあり調査員が目下検討中である

仙台の墓園
視察に出張

平市では目下、谷川瀬地内に計画中の墓園建設の実現促進を計るため関係者の第一陣として都市復旧計画により移転を余儀なくされた堂ノ前欣浄寺の檀家総代阿部伝六氏ら八名を平復興事務所但野技師、市土木課藤岡書記らと共に五日仙台市の近代的な墓園を視察することとなつた、第二陣としては谷川瀬の墓園予定地の地主代表を追つて視察させる予定

一昨年の被害個所
33個所改修決る
總工事費三千四百万圓で

平土木監督所管内（一市十九カ町村）に於いて去る二十五年度に襲つたキテイ台風によつて蒙つた災害個所のうち未改修のまゝ放任されていた河川二十四個所、道路一個所、砂防河川一個所で町村負担による工事七個所の合計三十三個所について二日建設省から広田技官ら査定班が来平、査定を行つた結果、総予算三千四百六十三万千円（うち国庫補助六割、県負担四割）で施行と決定、とりあえず県の予算編成後本年度中に千個所が着工する予定となつている、この管内では先きに二十七年度災害を受けた、河川、道路、海岸堤防など十三個所の査定が通りまた三十三個所が着工と決定したので土建業者の間では活潑な動きがあるものと予想され、大きな期待となつている、施行個所は次の通り、カツコ内は工費予算額で単位は千円

【河川】二十四個所夏井川▼夏井村下大越地内延長二百米（一五六・二）▼草野村下神谷地内延長十八米（三三・一）▼夏井村下大越地内延長二百米（三六五・五）▼赤井村赤井地内延長六十米（五三・二）好間川▼沢渡村上市萱地内延長九十米（一一・〇）▼沢渡村上市萱地内延長三十米（三四・四）▼同地内延長六十米（八一・五）▼同村下市萱地内六十米（四九・六）▼同地内延長四十六米（三六・七）▼同村中寺地内延長百二十米（六六・四）▼同地内延長百二十五米（七六・八）▼同地内延長六十五米（九三・七）▼好間村北好間地内延長五十米（二〇七・四）▼同村中好間地内延長六十米（一〇一・六）▼沢渡村上市萱地内延長百米（五〇・一）▼同村下市萱地内延長八十八米（五四・六）▼同地内延長五十七米（四八・二）▼永戸村合戸地内延長六十米（二八・四）小玉川　赤井村西小川高萩地内延長百三十八米（一二八・三）▼仁井田川▼大野村駒込地内延長九十米（四五・七）▼同村玉山地内延長二十四米（二六・二）藤原川▼磐崎村藤原地内延長六十米（五五・八）▼同地内延長五十九米（六三・九）三阪川三阪村中三坂地内延長六十米（四七・七）

【道路】一個所上三阪―平線　永戸村合戸地内延長三十米（四六・五）

【砂防工事】一個所　好間川沢渡村中寺地内延長三十五米（三一・五）

【町村負担土事】七個所　国庫大割　町村負担四割　好間村▼独古内橋（一〇八・五）▼同村北好間地内県道延長五十米（六五・四）赤井村　山下橋（一二一・五）小川村　新橋（一八五・九）内郷町▼水汲橋（三三・四）▼白水橋（五五・五）

定置漁期の延長答申

昨報＝當間地先の定置漁場設定計画に関する公聴会の意見に基いて三日午後一時から平市県水産事務所に開かれた第四回福島海区漁調委員会は漁民の意見を尊重して一月十五日までの漁期の延期は認められるが、一月一日から三月三十一日の漁場設定は船舶航行の

季節學級
磐農高で開設

磐農高では農繁期を利用し五日から明春三月一杯まで季節学級を開設する、主として和洋裁の実習

電源スト突入
また無期限職場放棄

第一（可能出力二八八〇KW）＝従業員十名＝鮫川（可能出力二六〇KW）＝従業員七名＝の二発電所が電源ストに突入した、一方四日午前八時半から平営業所内の営業課五十名が一斉に無期限職場放棄に入つた

北目青年會
新に發足

平市北目町に此の程新しく青年会が発足、平市発展のための力強い第一歩を踏み出した、会員は男女五十七名で役員は次の通り、▼会長　伊藤武のり▼副会長　松崎清　渡辺陽子

植田公民館
運營委選考中

植田町公民館運営審議委員長箱崎幾一氏外二十九名の委員は任期満了となつたので目下選任者は各組団体で選考中である、尚従来三十名の委員を二十五名に減員する事

華泉書伯特選祝賀會
六十名出席盛大に開く

大平華泉後援会（会長舘橋元三郎氏）では大平華泉画伯の第八回目展特選の祝賀会を三日午後二時から湯本町『古滝』で日展審査員吉田登攻、酒井三良、河野華渥の三画伯を迎え石城郡内の会員六十余名が集まり盛大に開かれた、大平氏の作品は白河城を画いた風影画【城趾一】でそれが見事に特選の栄誉を射とめたもので浜通りでの特選は氏が始めてである、列席した東京文化財研究所美術部勤務関元三郎氏は『古びた石垣や松林や忠実に写した大作で自然主義的な観照と南画風の筆で描かれよくまとまつている』と評しており氏の将来は日本画壇から大いに嘱望されている（写真は右から酒井、吉田大平、河野各画伯）

好間共進會
六、七日開く

好間村農業委員会主催の好間村共進会は六、七の両日同村第一小学校講堂で開催する、これには同村内小、中学校の児童生徒の図画、習遍の展示会も開く

けさの寒さ
零下二度三分

三日から石城地方に押しよせた寒波は今年になつて最低の寒さだつた、小名浜測候所の発表によると四日午前四時から五時にかけて気温は一番降り最低は零下二度三分で平年より三度七分も低く氷が張つたほか隆霜があつた、これは気圧配置が『西高東低』の完全な冬型になりシベリヤから冷たい風が吹き込んできたためでこの寒さは一両日は続くだろうと同所では語つている

火藥試驗の
合格者發表

去月十五、六の両日平市公会堂で開催した二十七年度第二回甲、乙種火薬取扱い主任資格国家試験の合格者が決定した、石城郡関係の合格者氏名は次の通り、なお紅一点渡辺多賀子さんが合格しているこれは全国でも稀だと石城地方事務所では語つている

【甲種】受験六十四人中六名合格　渡辺多賀子、堀江好隆、東間哲男、加倉井清一、堅越広美　関根忠

【乙種】受験百七十六人中二十三名合格　金森清作、遠藤順平、寺島喜一、鴨原善春、庄孝乙宮川三千彦、藤田藤一、本間義敏、瀬野七郎、大内盛男、高田利男、渡辺勝也、小黒栄弥、草野尚衛、草野修策、佐藤元雄、園部一郎、伊東博、渡辺忠弘藤間勇、綱川隆三、根岸喜三郎　大井川喜枝

消防團幹部
の規律訓練
あす植田で

頻多方部の消防団幹部規律訓練は五日午前九時から植田小学校で実施される、午前中は学科、午後同校々庭で実地訓練が行われる指導官は県消防課長

馬耕の實演
農産物展に

植田町の農産物品評会は来る六、七の両日植田小学校講堂で開催七日は午前九時から小学校児手の

迎歡 大山郁夫先生
講演會

日時 十二月六日（土）午後一時より
會場 平市公會堂
◇新中国映画『白毛女』も余興として上映されます

平和のための講演會實行委員會

平和の雄大山郁夫先生が來平されます

御老体をかえりみず、戦争の悲惨から人類を救うため日夜先頭に立つて活躍される先生に対し真心な感謝の意を表するとともに、われくは双手をあげて歓迎するものであります

泉温本湯
常磐線の唯一の
美しい代の
近新装
新瀧旅館
電20 33

迫る!! 1953年
クリスマスカード 新年エハガキ
百人一首 カルタ トランプ
當用懐中各種日記
春は マルトモの店頭より

色よい 味よい 香よい
ヤマフル特上しょうゆ
えびす講の ごちそうも
ヤマフル醤油で 風味。萬點。
天然醸造醤油味噌
十番 塩屋

◇急募◇
お座敷女中さん 年令二十才以上の方
下働き女中さん 年令三十才以上の方
委細面談 平市銀治町 電二〇七九
菊よし

求宅地建物
福島県知事登録済
平宅地建物取引所
平市才槌小路踏切西側 電三六一

新發賣
平名物三色羊羹
最新の技術により最高の品質
◇御贈答 お土産品に……
五本入 美濃箱入 四百圓
三本入 美濃箱入 二百四十圓
お好み一本 八〇圓
★最新型ケース使用
▼平市内販賣店▲
三丁目 三井百貨店
中央通 八百富
中央通 水野菓子店
中央通 ほていや
駅前 はとや商店
駅前 秋山商店
銀座通 藤越
元賣發造製
甘露園
平市大町11 電920

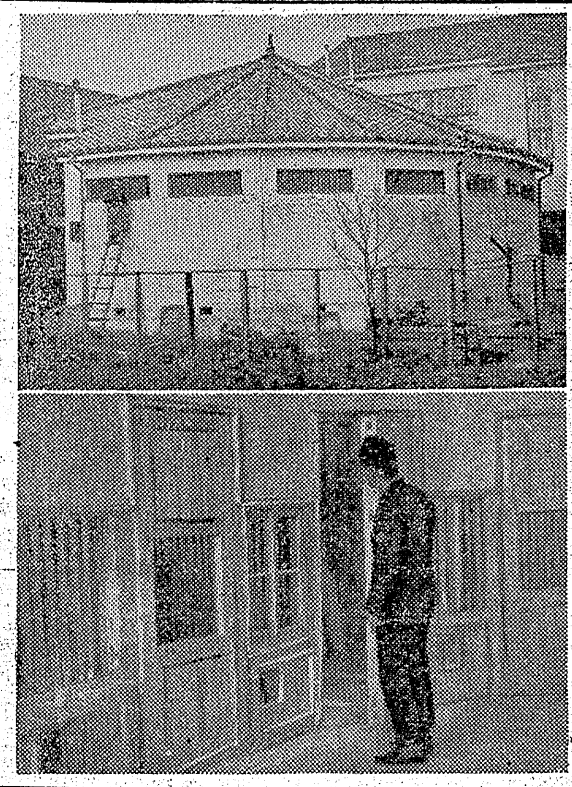
季節ふく
ふくと
ふぐなら
酒の味
天金
特製中華そば 五〇えん
でんわ九九〇 ブラジル

日刊　1カ月金100円郵券126円（週2回四頁建）
（除月曜）定価一部（二頁）3円（四頁）6円
（第三種郵便物認可）
いわき民報　夕刊　昭和27年12月5日（金曜日）第2010号

草野心平先生の講演會あす開く

空前の盛況を豫想される

本社主催日本詩壇の第一人者である郷土出身の草野心平先生を迎えて愈よ明五日午後二時半から平市公会堂で開く〝芸譜演会〟は郷土では始めてであり各方面から非常な人気を呼び市内各校からも生徒の団体申込みがあるなど当日は文化人がどっと押し寄せるものと見られ非常な盛況を予想されている



百廿名に收監状

罰金未納の惡質者に

年の暮れも旬に控え平区検では未納の罰金、科料の一掃に大鉈力をかけている、三日には五十三名、四日には六十八名と二日間で百二十一名に收監状を発するとともに管内各警察署に悪質者は労役場に強制收監するよう訓令している、内容は上小川村字川原盤業柳内和一(三)の食管法違反で罰金一万五千円を筆頭に道路交通取締法、食管法、煙草専売法の各違反が殆んどでおよそ二百万円にのぼっている、なおこれら三日中にも引き続いて收監状が出される

平地區署の監房完成

獨房七つ、立派なもの

去る九月から工費九十万円で着工された平地区署監房の建築は五日で完成する、この建物は建坪三十坪で独房が七部屋でなかく立派中央にはホールがあり收容人員二十一名、風呂もあり外観は扇形の近代的建築物で東北管内では二番目に出来上ったもの（寫真は平地区署監房全景と室内）

四倉港に燈柱

加茂丸の遭難事件に鑑がみ

先月二十三日夜四倉港外で三名の犠牲者を出した加茂丸の遭難事件について当時港の入口の燈柱が消灯していたのでこの復旧をはかるため第二管区海上保安本部燈台部須賀工務課長、遠山小名浜海上保安部長らが三日午前十時から四倉漁協組に地元代表者と会見、木柱で仮燈台を設置することに協議した結果、とりあえず高さ約十五米の燈柱を地元負担で復旧する一方海上保安庁でも来年五月ごろ簡易燈台を四倉港に建設することになった

十日日鑛常連で團交

東部石炭会館に開く

日鉱常連では来年一月以降新賞金の第一回団交を十日午後一時から

忠靈供養塔

反響を呼ぶ

平市鎌田の弘源寺に今度出来た忠霊供養塔は各方面に大きな反響を呼んでいる—というのは戦歿者家庭には裕福な家庭から貧しい家庭といろ〳〵あり、貧乏なところでは石碑を建てるといっても三—四万円もかゝるので仲々手が出せない、これを共同で建設するとなると一家庭千円か二千円で済むお寺に整理する盆、めい日の酒肴料程度で立派なものが出来上るのだから確かに良い思いつきではある

落盤で即死

三日午後八時半ごろ赤井村西小川神ノ山炭鉱斜坑本線で落盤があり採炭夫多田政吉さん(三)は下敷となり即死した

煙草盗難

小名浜町花畑煙草販売業推名正己さん方では四日午前二時半ごろ店内からビース、光など煙草四十個を盗まれた

ベンチでポカリ

内郷町綴字一の坪六五番子商渡辺某(こ)は二十六日午後八時ごろ同字地内で酔っぱらっている同町白水字浜井場一七工後藤広一(三)に因縁をつけられて憤がいし自宅からベンチを持ち出して後藤の頭部を殴りつけ全治一週間の裂傷を与え内郷地区署へ

安部長らが三日午前十時から四倉漁協組に地元代表者と会見、木柱で仮燈台を設置することに協議した結果、とりあえず高さ約十五米の燈柱を地元負担で復旧する一方海上保安庁でも来年五月ごろ簡易燈台を四倉港に建設することになった

落盤で即死

三日午後八時半ごろ赤井村西小川神ノ山炭鉱斜坑本線で落盤があり採炭夫多田政吉さん(三)は下敷となり即死した

煙草盗難

小名浜町花畑煙草販売業推名正己さん方では四日午前二時半ごろ店内からピース、光など煙草四十個を盗まれた

ベンチでポカリ

内郷町綴字一の坪六五番子商渡辺某(こ)は二十六日午後八時ごろ同字地内で酔っぱらっている同町白水字浜井場一七工後藤広一(三)に因縁をつけられて憤がいし自宅からベンチを持ち出して後藤の頭部を殴りつけ全治一週間の裂傷を与え内郷地区署へ

忠靈供養塔

反響を呼ぶ

平市鎌田の弘源寺に今度出来た忠霊供養塔は各方面に大きな反響を呼んでいる—というのは戦歿者家庭には裕福な家庭から貧しい家庭といろ〳〵あり、貧乏なところでは石碑を建てるといっても三—四万円もかゝるので仲々手が出せない、これを共同で建設するとなると一家庭千円か二千円で済むお寺に整理する盆、めい日の酒肴料程度で立派なものが出来上るのだから確かに良い思いつきではある

十日日鑛常連で團交

東部石炭会館に開く

日鉱常連では来年一月以降新賞金の第一回団交を十日午後一時から

四倉港に燈柱

加茂丸の遭難事件に鑑がみ

先月二十三日夜四倉港外で三名の犠牲者を出した加茂丸の遭難事件について当時港の入口の燈柱が消灯していたのでこの復旧をはかるため第二管区海上保安本部燈台部須賀工務課長、遠山小名浜海上保

平地區署の監房完成

獨房七つ、立派なもの

去る九月から工費九十万円で着工された平地区署監房の建築は五日で完成する、この建物は建坪三十坪で独房が七部屋でなかく立派中央にはホールがあり收容人員二十一名、風呂もあり外観は扇形の近代的建築物で東北管内では二番目に出来上ったもの（寫真は平地区署監房全景と室内）

百廿名に收監状

罰金未納の惡質者に

年の暮れも旬に控え平区検では未納の罰金、科料の一掃に大鉈力をかけている、三日には五十三名、四日には六十八名と二日間で百二十一名に收監状を発するとともに管内各警察署に悪質者は労役場に強制收監するよう訓令している、内容は上小川村字川原盤業柳内和一(三)の食管法違反で罰金一万五千円を筆頭に道路交通取締法、食管法、煙草専売法の各違反が殆んどでおよそ二百万円にのぼっている、なおこれら三日中にも引き続いて收監状が出される

四倉港に燈柱

加茂丸の遭難事件に鑑がみ

先月二十三日夜四倉港外で三名の犠牲者を出した加茂丸の遭難事件について当時港の入口の燈柱が消灯していたのでこの復旧をはかるため第二管区海上保安本部燈台部須賀工務課長、遠山小名浜海上保

十日日鑛常連で團交

東部石炭会館に開く

日鉱常連では来年一月以降新賞金の第一回団交を十日午後一時から

忠靈供養塔

反響を呼ぶ

平市鎌田の弘源寺に今度出来た忠霊供養塔は各方面に大きな反響を呼んでいる—というのは戦歿者家庭には裕福な家庭から貧しい家庭といろ〳〵あり、貧乏なところでは石碑を建てるといっても三—四万円もかゝるので仲々手が出せない、これを共同で建設するとなると一家庭千円か二千円で済むお寺に整理する盆、めい日の酒肴料程度で立派なものが出来上るのだから確かに良い思いつきではある